

令和5年度 埼玉県立浦和第一女子高等学校

PTA・後援会合同総会報告

令和5年6月3日土曜日、本校体育館において、PTA・後援会合同総会が開催されました。台風の影響による前日からの激しい風雨により、一部電車遅延なども発生している状況でしたが、開会の頃には雨も止み、予定通りの開催となりました。

参加総数は、出席者167名、委任状による参加831名、計998名をもって進行されました。

審議された議題は以下の通りです。

- ・令和4年度事業報告・決算報告・会計監査報告議案
- ・令和5年度新役員選出
- ・令和5年度事業計画および予算議案

これらすべてが承認されました。

昨年度はコロナ禍による制限がある中、十分な対策を取りつつ、一部対面でのイベントが実施されたことが報告されました。また、今年度は5月8日より新型コロナウイルス感染症が第5類に移行されたことを受け、新PTA会長吉田靖さんを中心に、学校とも適宜協議をしながら、コロナ禍前の活動に戻していきたいというお話がありました。

細かな内訳について、PTA会長松永さん、後援会会長石井さん、麗風会会長栗原さん、佐藤校長先生、岡田事務部長、PTA各部部長より丁寧な説明がありました。

報告の主な点としては、以下となります。

- ・今年度はPTA活動が通常通りになることを見込んだ予算編成になっていること
- ・冷房費予算は予備費からの流用も視野に入れ、今後の不透明な電気料金の推移に備えること
- ・麗風会より、コロナ禍により中断していた森づくりの活動を再開し、11月に実施を予定していること



校長先生からは、これまでできなかったこと、特に、国際交流事業を積極的に実施していきたいというお話がありました。4月には姉妹校である台北市立第一女子高級中学校の生徒が来校され、授業体験や歓迎会が行われたこと、ベトナムフィールドワークに向けた説明会もあったことをご報告いただきました。サステナブル（持続可能）でレジリエント（危機対応）な方針で進めたいというお話もいただきました。

3月の卒業式では、4年ぶりに校歌が流れたことが感動的だったというお話もありましたが、コロナ禍を経験し、当

り前のありがたさを実感したことと思います。

新PTA会長吉田さんがお話された通り、子どもたちにとって高校3年間は貴重であると同時に、保護者にとっても貴重な3年間です。そして、制限が緩和された今年度、多くの現地、対面活動が実施される予定です。イベント、行事にはぜひ積極的に参加をし、保護者同士、先生方とのコミュニケーションを活発に取って、学校を盛り立てていきたいと感じました。

ご協力いただきました皆様ありがとうございました。

（文責 本部）